平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	文章表現基礎講座 (Basic Course of Sentence Expression) 【工学部】	授業コード	A030864
担当教員名	赤星　哲也、安田　幸夫、郡　弘文、太田　清子、坂井　美穂、森迫　誠、担当者未定	科目ナンバリングコード	A10303
配当学年	1	開講期	後期
必修・選択区分	必修	単位数	2
履修上の注意または履修条件	「基礎学力講座(国語)」を履修していることが望ましい。(教科書は同じ)		
受講心得	国語辞典(電子辞書も可)を携帯するようにしてください 欠席や遅刻は厳禁 講義時間以外には新聞・雑誌・本を読み、読解力、語彙力をつけるよう心掛けてください また、思考力、判断力、表現力をつけるため、日ごろから文章を書く癖をつけましょう		
教科書	NBU出版　文章表現基礎講座　工学部テキスト　2018年度版		
参考文献及び指定図書	『三省堂国語辞典　第七版』(比較的小型)、江守賢治『漢字筆順ハンドブック　第二版』(三省堂)、小学館辞書編集部(編)『日本語便利辞典』(小学館)、金田一春彦(監修)『手紙の書き方辞典』(学習研究社)、『国語力アップ400問』(NHK出版[生活人新書067])、『国語力もっとアップ400問』(NHK出版[生活人新書105])、水谷信子『心を伝える日本語講座』(研究社出版)、加納善光『漢字の常識・非常識』(講談社現代新書954)、池上彰『日本語の「大疑問」』(講談社＋α新書6－1　C)、秋月高太郎『ありえない日本語』(ちくま新書524)、金武伸弥『王道日本語ドリル』(集英社新書0428E)、佐竹秀雄『日本語教室Q&A』(角川ソフィア文庫)、鈴木輝一郎『日本語の逆襲』(小学館)、清水義範『日本語がもっと面白くなるパズルの本』(光文社文庫)、樋口裕一『本当に使える！日本語練習ノート』(PHP新書622)、朝日新聞出版(編)『日本語きほん帳』(朝日文庫)。		
関連科目	社会参画入門　社会参画実習1　社会参画応用　社会参画実習2　基礎学力講座・国語 情報リテラシー1・2　英語1・2　コミュニケション演習　現代社会要論　人間力概論		

授業の目的	変化の激しく多様化する現代社会ではこれまで以上に「書く」力が求められており、大学における日本語教育の一つに文章表現力教育があります。本授業では、高校までに培った国語の基礎力(語彙力・読解力)をもとに、読み手に伝わる文章を書けるようになることを目的としています。短い文章から初めて、繰り返し書く基礎的な練習を行い、最終的に1000字程度の論理的な文章を作成する基礎的な能力の養成を図ります。
授業の概要	本講義では、短い文章(200字)からやや長い文章(1000字)を書く練習を段階的に行っていきます。その際に、読み手に伝わる文章が書けるようにピアレビューを取り入れています。また、継続的に自己学習が続けられるように自らの文章表現力を評価するため自己評価文作成をしてもらいます。第16週目に期末試験(400～800字程度の文章作成)を行います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション 講義の進め方、出席の取り方、遅刻・早退の取り扱い、評価の方法などについて説明後、文章表現に関する事前意識調査アンケートおよび資料を読み取り、400字程度の意見文を 作成してもらいます。	必要に応じ辞書(国語辞典等)を引くこと。 パソコンの使い方に関しては情報リテラシー1を復習 箇条書きおよび文章の作成に関しては「知へのステップ」を参照

第 2 週 ： 400字程度の短い文章の文章作成の練習1 テーマ1「各年度ごとにテーマを変更（オリエンテーション時にその年度のテーマを通達」 読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → ユニパにて課題提出	各回、書き言葉や意見文の形、データの読み取り方などについて 予習：2時間程度 復習：2時間程度 を行ってください。 【予習のポイント】 意見文の書き方 資料の読み取り方 等を「知へのステップ」で確認、練習しましょう 【復習のポイント】 毎回、返却される個票を確認し、できていない箇所について、どのように書けばよいか、ワークシートを書き直したり、見直したりしましょう。
第 3 週 ： 短い文章の文章作成の練習2 第2週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → ユニパにて課題提出	
第 4 週 ： 短い文章の文章作成の練習3（400字意見文の完成） 第3週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って、400字の意見文を完成します。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → ユニパにて課題提出	
第 5 週 ： 600字程度のやや短い文章の文章作成の練習1 テーマ2「各年度ごとにテーマを変更（オリエンテーション時にその年度のテーマを通達」 読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → ユニパにて課題提出	
第 6 週 ： 600字程度のやや短い文章の文章作成の練習2 第5週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → ユニパにて課題提出	
第 7 週 ： 600字程度のやや短い文章の文章作成の練習3 第6週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → ユニパにて課題提出	
第 8 週 ： 600字程度のやや短い文章の文章作成の練習4 第7週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → ユニパにて課題提出	
第 9 週 ： 600字程度のやや短い文章の文章作成の練習5（600字意見文の完成）	

第8週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って、600字の意見文を完成します。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → ユニパにて課題提出	
第10週： 800字程度のやや長い文章の文章作成の練習1 これまでの学習を振り返り、 箇条書きの仕方や意見文の形についてワークシートを使い学習します	
第11週： 800字程度のやや長い文章の文章作成の練習1 テーマ3「各年度ごとにテーマを変更（オリエンテーション時にその年度のテーマを通達」 読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → ユニパにて課題提出	
第12週： 800字程度のやや長い文章の文章作成の練習1 第11週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → ユニパにて課題提出	
第13週： 800字程度のやや長い文章の文章作成の練習1 第12週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → ユニパにて課題提出	
第14週： 800字程度のやや長い文章の文章作成の練習1 第13週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。 学生同士にピアレビューをしてもらい、わかりにくい点、わかりやすい点をそれぞれお互いにコメントをしてもらいます。 → ユニパにて課題提出	
第15週： 800字程度のやや長い文章の文章作成の練習およびまとめ 第14週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って、800字の意見文を完成します。第16週の期末試験について説明。	【復習課題】 2時間程度 第15週で作成した意見文を推敲して提出してみましょう
第16週： 期末試験 文章表現基礎講座の総括として400～800字程度の作文を課します。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	課題に積極的に取り組むことができる
【知識・理解】	文章表現力向上のために、基本的な原稿用紙の使い方、作文の基本的な書き方などが理解できる。 また、不明な場合は調べることができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	読み手に伝わる文章表現を心がけることができる。
【思考・判断・創造】	論理的な文章として表現でき、繰り返し推敲し、1000字程度の文章を作成することができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**20点**	**5点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**5点**	**15点**		
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**5点**	**15点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**10点**	**20点**	**5点**	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	資料（文章、表やグラフなど）を正確に読み取ることができる（C評価） 読み取った資料から意見を時間内に書くことができる（B評価） 読み取った資料から指定文字数の論理的な意見を時間内に書くことができる（A評価） 読み取った資料から論理的に意見をまとめ、時間内に推敲して指定文字数の意見文を書くことができる（S評価）
発表・その他（無形成果）	